

《創刊50周年感謝》アンケートで総額5万円プレゼント

昭和42年1月26日第3種郵便物認可 第50巻第10号 毎月1日発行 平成27年10月1日発行（平成27年9月15日発売） 発行所 株式会社太陽 札幌市中央区大通西28丁目

道民雑誌

10  
2015

道民

味覚、嗅覚、聴覚に欠かせない

「喉」・「鼻」・「耳」の病氣

人が生きていく上で必要な感覚である五感のうち、味覚・嗅覚・聴覚を担う器官が「喉」・「鼻」・「耳」である。鼻は外気からの有害物質を取り除くフィルターの働きを有し、喉と耳は人がコミュニケーションをとる上で重

要な役割を担う。その主だった病氣である喉頭がん・アレルギー性鼻炎・難聴について専門医がわかりやすく説明する。

# 遺伝的体質と環境因子で生体防御機能が

# 過剰に働くのがアレルギー性鼻炎

——アレルギー性鼻炎とは。

まず鼻には外界にあるハウスダストや花粉のような有害な物質がからだの中に入ってこない

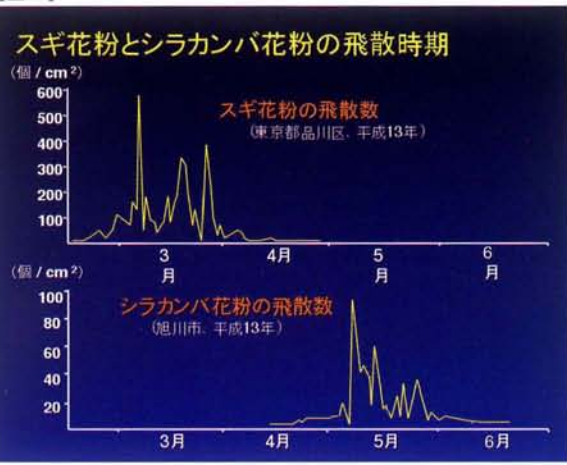
ように、鼻の中で免疫を起こして排除する働きがあります。その免疫機能が症状になって現われたのがアレルギー性鼻炎。人の生体防御機能の1つが過剰に働くのがアレルギー性鼻炎なんです。

健常の人はハウスダストのような有害物質を咳やくしゃみ、鼻水などで自然に外に出すわけ



旭川医科大学  
耳鼻咽喉科  
原 洌 保明 教授

【図3】



ですが、アレルギー体質をもつた人はそれが過剰な反応になるわけです。

一口に反応と言っても細菌などに対する①「Th1」反応と、花粉やハウスダストのようなアレルギーに対する②「Th2」反応があります。昔は不衛生な環境だったため、①「Th1」反応が多かったんですが、近年は環境因子として「Th2」反応にシフトしています。このようにアレルギー性鼻炎は遺伝的

多いのに対して、北海道で最も多いのがシラカンバ花粉症で、5月の大型連休の前後になりやすい。加えてイネ科やヨモギの花粉症は夏・秋に多くみられます(図3)。

——診断と治療は。

診断については第一に問診です。問診では症状を診ます。ハウスダストやダニなどによる通年性のものについては、朝起きるとくしゃみ、鼻水、鼻つまりが出

体質と環境因子が組み合わさって発症します。

——アレルギー性鼻炎の原因となるアレルギーはどのようなものがあるのですか。

アレルギーには通年性のものと季節性の2種類がありますが、通年性ではハウスダストやダニ、ペットの毛などがアレルギーになります。季節性は花粉で、花粉によって起こるアレルギー性鼻炎を「花粉症」といいます。花粉症は本州ではスギ花粉症が

るのが特徴です。夜、寝ている間にアレルギーを吸い込んで、朝起きたときに反応が出るわけです。

一方、北海道で代表的なシラカンバ花粉症は天気の良い日に外出すると、くしゃみ、鼻水、鼻つまりがひどくなり、加えて目も痒くなって涙が止まらない。それから1カ月経つと治まりま

す。

さらに正確に診断するには、鼻鏡で鼻の中を診て下鼻甲介という粘膜が突出した部分の色を調べます。下鼻甲介が青白ければアレルギー性鼻炎。また鼻水を綿棒でとり、その中の好酸球の量を調べます。血液検査ではIgE抗体の値を調べます。



す。次に抗ヒスタミン剤による薬物療法で鼻水などの症状を抑えます。最近では舌下免疫療法といって、アレルギーのエキスを舌下に載せることで抵抗性を高め体質改善をはかる治療も行われています。今年の秋にハウスダストやダニに効く舌下免疫療法が市場に出ます。ただ舌下免疫療法は口が腫れるなどのアナフィラキシー反応が出る場合もあるので専門医と相談して行うべきです。

